

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立山王小学校		
実 施 期 間	平成26年11月16日(日)		
実 施 概 要	保護者・地域の方と共に農業体験 5月25日(日) 田植え 9月20日(土) 稲刈り 11月16日(日) 感謝祭 ・収穫したもち米を使って餅つき体験をする。 ・地域の方から、餅についての話を聞く。 ・みんなで食する。 ※除草・脱穀等はPTA役員・職員で実施した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	57 人	計 約67 人
	地域関係者	約10 人	
実 施 状 況	○学校田(どんぐりっ子水田)において、PTA本部役員が中心となって、もち米を栽培 ・田植え(約40人の親子が参加して、全て手植えで行った。) ・稲刈り(約30人の親子が参加して、全て手で刈り稲架にほした。) ※今年は約180kgの収穫があった。 ○感謝祭を開催 ・社会教育副委員長に、餅についての歴史や地域の文化について話をさせていただく。 ・収穫したもち米を使い、5つのグループに分かれ臼と杵を使って餅つきを行う。 ・つきたての餅とPTA役員が準備した豚汁をみんなで食べる。 ・栽培した餅米を校区の保育園、幼稚園へ配付。		
成 果 及 び 課 題	○昔から伝わる稲作の体験をすることで地域に根ざした文化を学び、食のありがたさを実感する事ができた。 ○餅についての話を聞くことで、餅に込められた願いや、地域の文化を知る機会となった。 ○臼と杵で餅をつく体験を通し、文化を伝え継承していこうとする気持ちを育てることができた。 ○保護者や地域の方と共に活動することで、自分の周りの方への感謝の気持ちを高めていくことができた。 △長寿会等、地域の方へ呼びかけ、地域の文化を学び広げていく機会を増やしていきたい。 △子どもたちの体験を重視し、どれだけでも子どもたちが考え動ける体験活動にしていきたい。 △今後も、稲作等に関わった話を聞く機会を設けると共に、餅つき以外の簡単な活動も計画していきたい。		